

川村シンリツ エオリパック アイヌ講演会

2010年10月24日(日) pm2:00~5:00

講師紹介 1951年 旭川近文コタンに生まれる。
「シンリツ エオリパック アイヌ」は、「先祖を大事にする人」という意味。
26歳の時、川村カ子トアイヌ記念館館長になる。旭川アイヌ語教室やチツ
カプニアイヌ民族文化保存会などの活動の中心的存在。

イオマンテDVD上映(45分)

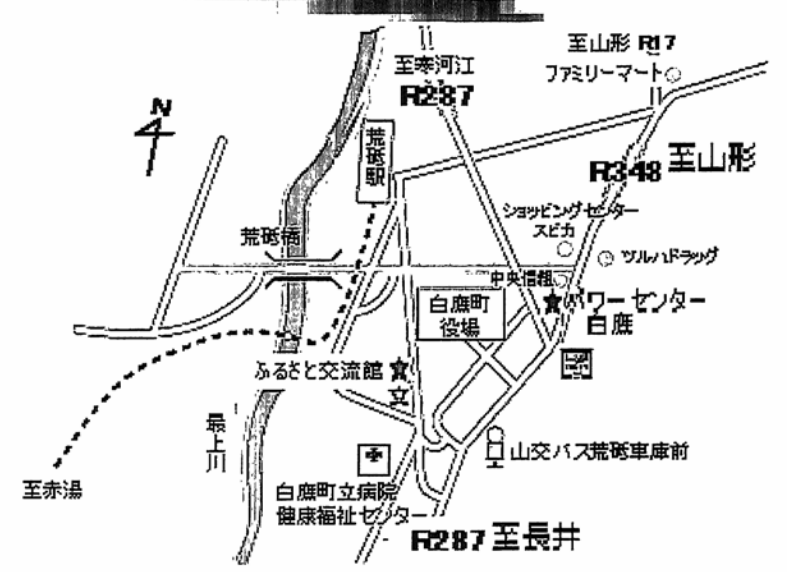
1985年旭川では28年ぶりのイオマンテ(熊送り)を行った時の映像を上映。アイヌ民族は子熊を育て共に暮らす文化を持っています。しかし、政府は熊を飼う事も、鮭を獲る事も禁止しています。奪われた文化を取り戻すまでの道程を映しています。

日時
場所: 白鷹勤労者
アイヌ
民族の命も、
文化も奪ってきた
のは日本人ですが、
今の私達もまた、
「アイヌ ネノ アン アイヌ」
(人間らしい人間) そんな心
を奪われていると思う。

センター (パワーセンター)
総合福祉
参加費
¥500
*カンパ歓迎

pm7:00~交流会
ふるさと交流館

主催 ピリカ全国実行委員会 山形グループ設立準備会
連絡先 前田 麻子 tel 090-6181-5131
asako-10.4@ezweb.ne.jp



合唱劇 カネト DVD上映

事前学習会 来る10月24日(日)パワーセンター白鷹で川村シンリツ エオリパック アイヌさんを招いて講演会を行います。できるだけ多くの方の参加を望んでいます。アイヌ民族の話をもっと、身近に感じて欲しいという思いから、今回の上映会を企画しました。
『カネト』は、川村シンリツ エオリパック アイヌさんの父の実話を基に書かれた子供向けの本が原作です(著 沢田 猛)。愛知の方々によって、合唱劇になりました。今回は、「川村カ子ト没30年・生誕115年記念」として2008年に旭川で公演した時のDVDを上映します。今、カネト合唱劇は、2011年東京公演に向けて準備中です。

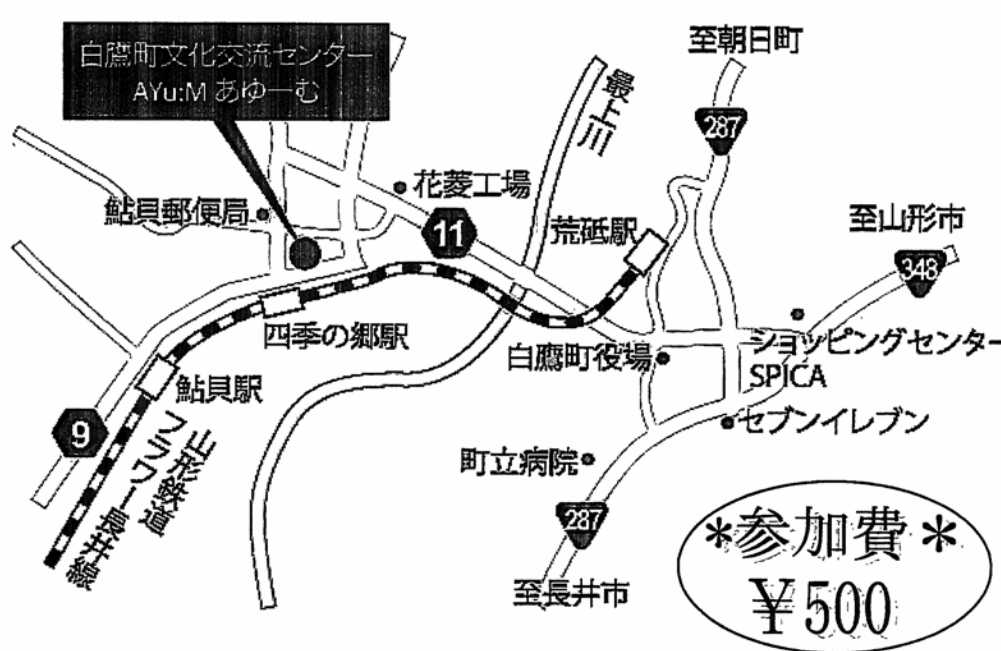
STORY 「カネト」は「金を探る人」という意味。1893年に上川アイヌのリーダーの家に生まれる。小学校に入り、アイヌというだけでいじめられ、泣いて帰った所を祖父モノクテに叱られる。蒸気機関車を見て鉄道に憧れ、小学校を出ると測量人夫の仕事に就く。全北海道の鉄道建設の半分以上を測量人夫として働きながら、測量技手を志し、夜な夜な勉強しみごと合格する。そして、三信鉄道から、愛知県東部~長野県を走る飯田線の「三河川合一天竜峡」間の測量依頼が来る。命がけの難所を測量だけでなく、線路工事を現場監督として行い、三年後の1932年10月みごとに開通する。どこへいってもアイヌ差別がつかまとう それでも信念を貫き完成させる。



2回上映を行います(DVD上映時間 1時間45分)

in 白鷹 2010年10月9日(土)
pm6:00~8:00
AYu:M(あゆーむ) 文化伝承室

in 山形 2010年10月10日(日)
pm2:00~4:00
霞城セントラル 23F 高度情報会議室



参加費
¥500

主催:ピリカ全国実行委員会 山形グループ設立準備会
連絡先:前田 麻子 tel 090-6181-5131 asako-10.4@ezweb.ne.jp